

# Catalyst 1200または1300スイッチのリブートまたは工場出荷時のリセット

## 目的

この記事の目的は、Catalyst 1200または1300スイッチでリブートまたは工場出荷時の状態へのリセットを実行する方法を示すことです。

## 適用可能なデバイス | [Software Version]

- Catalyst 1200 | 4.0.0.91([データシート](#))
- Catalyst 1300 | 4.0.0.91([データシート](#))

## 概要

Cisco Catalyst 1200および1300スイッチでは、手動によるリブートと工場出荷時のリセットの両方が可能です。

リセット機能は、ネットワークデバイスの現在の設定を削除し、元のデフォルト設定に戻すために使用されます。デバイス全体を再設定する必要がある場合は、手動リセットを推奨します。

ファームウェアのバージョンをアップグレードする場合を含め、リブートまたは再起動が必要な場合があります。

## スイッチの手動リブート

### ★ Best Practice:

デバイスをリブートすると、実行コンフィギュレーションが削除されます。何らかの設定をやり直す場合を除き、リブートする前に実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションとして保存することが重要です。

スイッチに物理的にアクセスできる場合は、デバイスのリセットボタンを10秒以内に押し続けて、スイッチをリブートします。



## Webユーザインターフェイス(UI)を使用したスイッチのリブート

### 手順 1

Catalyst 1200または1300スイッチにログインし、Administration > Rebootの順に選択します。

▼ Administration 1

System Settings

Console Settings

Stack Management

Bluetooth Settings

User Accounts

Idle Session Timeout

## 手順 2

次のいずれかの再起動オプションを選択します。

- Immediate : すぐにリブートします。
- Date : スケジュールの再起動の日付 ( 月/日 ) と時刻 ( 時間と分 ) を入力します。
- In : デバイスをリブートする指定日数、時間数、および分数を入力します。通過できる最大期間は24日です。

この例では、Immediateが選択されています。

Reboot

To reboot the device, click the 'Reboot' button.

Reboot:  Immediate

Date Jan 01 Time 00 00 HH:MM

In 00 Days 00 Hours 00 Minutes

Restore to Factory Defaults

Clear Startup Configuration File

## 手順 3

(オプション)

Restore to Factory Defaultsにチェックマークを入れて、リブートプロセス中に工場出荷時のデフォルト設定に戻します。また、Clear Startup Configuration Fileにチェックマークを付けてコンフィギュレーションファイルをクリアするオプションもあります

。

# Reboot

To reboot the device, click the 'Reboot' button.

Reboot:  Immediate

Date   Time   HH:MM

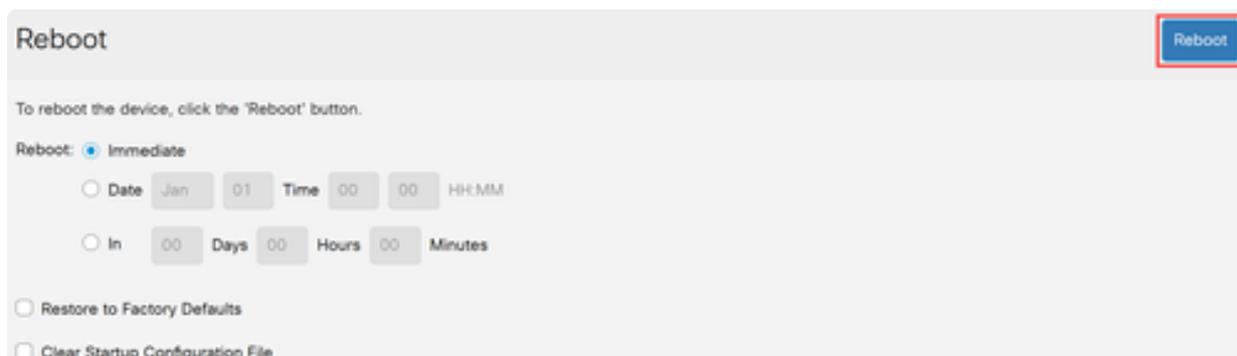
In  Days  Hours  Minutes

Restore to Factory Defaults

Clear Startup Configuration File

## 手順 4

Rebootをクリックします。



The screenshot shows the 'Reboot' configuration page. The 'Reboot' button is highlighted with a red box. The page includes the following elements:

- Section header: Reboot
- Instruction: To reboot the device, click the 'Reboot' button.
- Reboot options:  Immediate,  Date (Jan, 01), Time (00, 00) HH:MM,  In (00) Days (00) Hours (00) Minutes
- Additional options:  Restore to Factory Defaults,  Clear Startup Configuration File
- Reboot button: A blue button labeled 'Reboot' in the top right corner, highlighted with a red box.

## 工場出荷時のデフォルトに戻す

Catalystスイッチは工場出荷時のデフォルトにリセットできます。これにより、デフォルト設定から変更されたすべての設定が削除されます。

工場出荷時設定にリセットする主な理由は次のとおりです。

- リブートしてもデバイスが正常に動作せず、ソリューションが明確でない場合。
- 受信したデバイスの設定をクリアしてやり直す必要があります。

## オプション 1

前のセクションで示したように、Web UIを使用してリブートを実行する際に、スイッチを工場出荷時のデフォルト設定に復元するオプションがあります。

### Reboot

To reboot the device, click the 'Reboot' button.

Reboot:  Immediate

Date   Time   HH:MM

In  Days  Hours  Minutes

Restore to Factory Defaults

Clear Startup Configuration File

## オプション 2

### 手順 1

すべてのイーサネットケーブルをスイッチから取り外します。

### 手順 2

電源をオンにした状態で、Resetボタンを10秒以上押し続けます。プロセスが完了したら、イーサネットケーブルを使用してコンピュータを直接接続し、スイッチにアクセスします。



## 結論

これで、Catalyst 1200または1300スイッチをリブートするか、工場出荷時の状態にリセットする方法が分かりました。

Catalyst 1200および1300スイッチの詳細については、次のページを参照してください。

- [Cisco Catalyst 1200または1300シリーズスイッチにアップグレードする理由の機能比較](#)
- [Cisco Catalyst 1200および1300シリーズスイッチAt-a-Glance](#)

その他の設定と機能については、『Catalystシリーズ[アドミニストレーションガイド](#)』を参照してください。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。